

平成 23 年度カーボンフットプリント試行事業
第 2 回検証スキーム検討委員会

議事要旨（案）

日時： 平成 23 年 12 月 1 日（水） 15：00～17：00

会場： フォーラムミカサ エコ 7 階会議室

●出席者

稲葉委員長、浅川委員、海野委員、大沼委員、久保委員、小松委員、櫻井委員、高橋委員、辰巳委員、奈良委員、則武委員、長谷川委員、藤井委員、増井委員、横山委員（出席 16 名、欠席 2 名）

●議題

1. 本年度の検証スキーム検討委員会における検討の範囲（おさらい）（資料 3）
2. 検証機関WG 及び検証機関による個品別検証に関する実証実験について
 - （1）実証実験の最終結果報告（資料 4-1）
 - （2）検証機関 WG 及び実証実験のとりまとめについて（資料 4-2）
3. システム認証 WG 及びシステム認証に関する実証実験について（資料 5）
4. その他（資料 6）
 - （1）その他の論点について
 - （2）今後のスケジュールについて

●議事概要

- ・ 議題 1 について、事務局より説明が行われた。
- ・ 議題 2～3 について、事務局より説明、委員による議論が行われた（下記参照）。
- ・ 議題 4 について、事務局より説明が行われた。

1. 実証実験の最終結果報告（資料 4-1）
 - スライドの 5 ページに「将来的な検証機関による検証サービスの提供を想定し機関内レビューを実施」とあるが、機関内レビューの必要性はどこかで規定するべきである。
2. 検証機関 WG 及び実証実験のとりまとめについて（資料 4-2）

- 個品別検証を検証機関に任せる場合は、現在の検証パネルがなくなるのか否か。なくなるのであれば、P5「(3) 検証にかかる工数の整理」は、検証パネルに関連する工数を除外してとりまとめるべき（資料4-1についても同様）。
- P3(3)①に「実証実験を通じた～課題の洗い出し及びその解決策」と記載があるが、課題と解決策というまとめ方になっていない。
- P3(3)④に「個品別検証の実施可能性の提言」と記載があるが、どこに記載されているのか。
- 課題について、解決すべき主体が明確ではない。次年度のPHが取り組めばよいのか、施行期間中に事務局が解決すべき課題なのか。
- 工数の整理だけではなく、検証内容の質の差についても、とりまとめに入れるべきではないか。検証パネルでの指摘事項や指摘内容に対する要因分析があるとよい。
- 実証実験結果のとりまとめと、個品別検証一般の提言内容が混在している。「検証機関WG及び実証実験のとりまとめ」なので、実験結果を明確にし、一般の提言内容は分けて記載すべき。
- P6(2)①で「検証の分析」を行っているが、分析の結果、どうすればよいか（解決策、対策）が書かれていない。報告書でどこまで言及すべきかを明確にするべき。
- 現状、「必要以上に細かいところまで検証を行っている」等の声も聞かれるので、制度としてどうあるべきかの検討が必要である。その結果をとりまとめに盛り込む必要はないか。

3. システム認証WG及びシステム認証に関する実証実験について（資料5）

- ラベルの表示は、システム認証製品について区別できるようにするのか。
→ 展示の際にシステム認証実証実験の対象製品と区別できるようにする。
- 実証実験の審査以降にシステムから出された製品の表示についても、区別が必要ではないか。

以上